

住民意識を考慮した栃木県大平町の中心市街地活性化方策

足利工業大学工学部 学生員 ○ 鶴見 泰利
足利工業大学工学部 学生員 塚本健太郎
足利工業大学工学部 正会員 為国 孝敏
(株)シー・アイ・エス 正会員 岸 靖佳

1. はじめに

現在、全国の多くの都市において郊外部への大型店舗の進出、モータリゼーションの進展、消費者の生活行動の変化等によって中心市街地で空き店舗が増加している。その様な中心市街地を改善しようと全国各地でさまざまな活動が行われている。しかし、住民のまちづくりに対する意識との不整合から、成功した実例が決して多くないのが現状である。

本研究では、栃木県大平町を対象として、中心市街地活性化方策を検討するために住民意識調査、来街者意識調査の結果から地域住民の意向を分析することを目的とする。

2. 大平町の概要

大平町は総面積が 39.80km²、人口が約 2 万 8000 人で栃木県の南部に位置している(図-1)。主要な交通は、JR 両毛線(大平下駅)と東武鉄道日光線(新大平下駅)、町南端を東西に横断する一般国道 50 号線がある。町内には大規模な内陸型工場(電機、自動車)があり、企業城下町の様相を呈している。近年、ぶどうや平地林を生かした観光で賑わいを見せている。

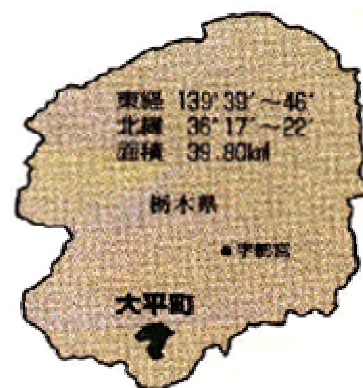


図-1 大平町の位置

3. 集計概要

大平町住民のまちづくりに対する意識を把握するために住民意識調査と来客者意識調査の 2 つのアンケート調査を行った。

住民意識調査では郵送調査法をもちいて 15 歳以上の大平町の住民 1,000 人を対象に行い、451 人の回答が得られた。

来客者意識調査では街頭面接法を用いて大平町内のショッピングセンターへの来客者を対象に調査を行い、246 人の回答を得られた。

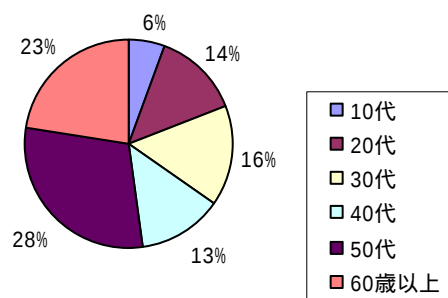


図-2 年齢の割合

4. 調査分析

回答者を年代別にみると 60 歳以上と 50 歳以上の合計が 51% となっており、高齢化が進んでいることがわかる(図-2)。

郵送調査における地域別の「大平町の中心市街地のイメージ」について分析を行った結果、西地区、東地区では「富田地区」の回答が 50% を超え、南地区では「西水代、西野田地区」、「富田地区」の回答がほぼ同数の結果が得られた。これから、南地区の方は「富田地区」が中心市街地という意識が低いことがわかる(図-3)。

キーワード：まちづくり、中心市街地活性化、栃木県大平町

連絡先：〒326-8558 栃木県足利市大前町 268-1

TEL：0284 - 62 - 0605 内線 385

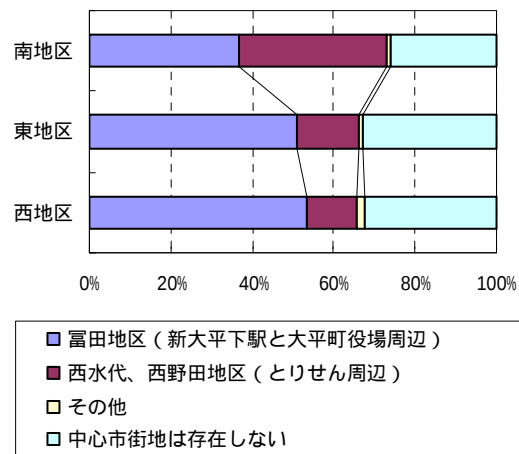


図-3 大平町の中心市街地のイメージ

「新大平下周辺地区の満足度」について各項目を4段階評価で調査を行い分析した結果、「買い物、商店」の満足度は全地域で「不満」、「どちらかといえば不満」と回答している合計が50%以上を占める結果となり、全地域で満足度が低いことがわかった(図-4)。

「医療施設」では、全地域で「不満」、「どちらかといえば不満」の合計が80%以上占める結果となり、全地域で満足度がかなり低いことがわかった(図-5)。

「自然環境」では、全地域で「満足」、「どちらかといえば満足」の合計が80%以上占める結果となり、全地域で満足度がかなり高いことがわかった(図-6)。

「駐車場、駐輪場」では西地区で「満足」、「どちらかといえば満足」の合計が50%以上、東地区、南地区は「不満」、「どちらかといえば不満」で50%以上を占める結果となり、中心市街地の西地区は「満足」、「どちらかといえば満足」が50%以上を占め、西地区以外は「駐車場、駐輪場」の満足度が低い結果となった(図-7)。

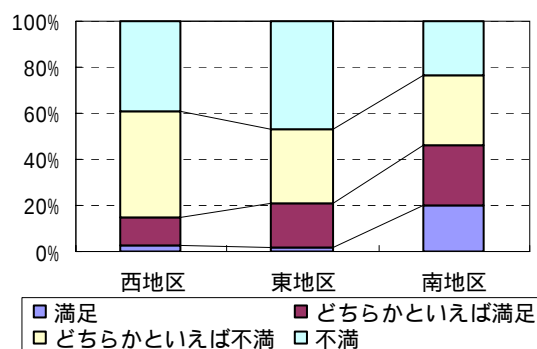


図-4 買い物、商店の満足度

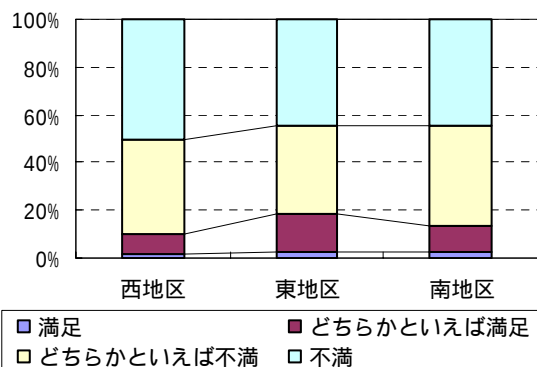


図-5 医療施設の満足度

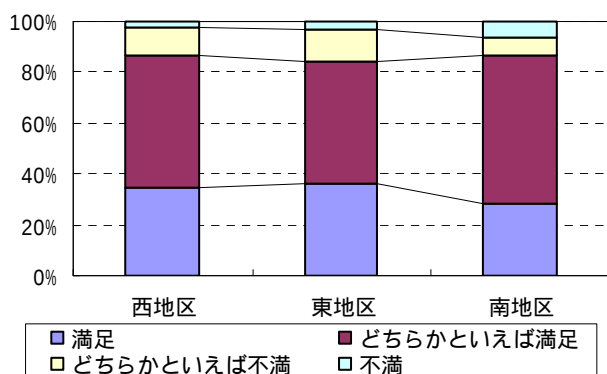


図-6 自然環境

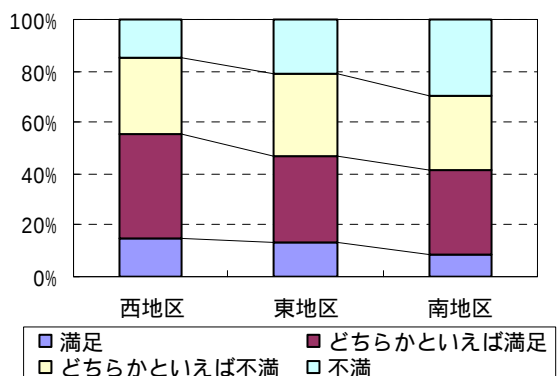


図-7 駐車場、駐輪所の満足度

5. まとめ

「新大平下駅周辺地区の満足度」で「駐車場、駐輪場」の不満が目立っており、特に中心市街地以外の地域の満足度が低い。そのため、町内や郊外からの来客が買い物等のような短時間で利用するための駐車場、駐輪場の確保が必要と考えられる。また、「買い物、商店」の満足度が全地域とも低く、その中でも特に西地区の満足度が低い結果となった。これらの結果から今後のまちづくりの方向性としては、商店街としての魅力を高めていく必要があると考えられる。

大平町の中心市街地のイメージの設問については、「富田地区」の回答が多く、「富田地区」が大平町の中心市街地だと認識できた。しかし、「中心市街地は存在しない」との回答も多いため、今後、住民の中心市街地の存在の認識を高めていく必要があると考えられる。

謝辞：大平町役場の方々および、アンケートにご協力いただいた大平町民の方々に感謝の意を表します。

参考文献

- (1) 林知己夫編：「社会調査ハンドブック」朝倉書店、2002.11.25
- (2) 大平町：「大平町第5次総合振興計画」、大平町、2001.3